

狩野永泰筆《富山帶雲之図・海岩逆浪之図》

(建仁寺久昌院藏)

中 谷 伸 生

狩野其同永泰（生没年不詳）は、狩野洞玉（景山守俊・一七五七頃－文化年間）の次男で、京狩野家第九代の狩野永岳（一七九〇－一八六七）の実弟である。永泰の三男が復古大和絵派の冷泉為恭（一八二三－一八六四）であることはよく知られている。永岳、永泰の父親の洞玉は、狩野元信などに憧れた復古調の江戸狩野の画家であるが、なかなか力量のある画家であった。^①ここで紹介する建仁寺久昌院所蔵の狩野永泰筆《富山帶雲之図・海岩逆浪之図》（双幅・紙本墨画、富山帶雲之図が縦五六・五、横一二五・五センチメートル、海岩逆浪之図が縦五七・〇、横一二八・三センチメートル）〔図1、2〕は、幕末京狩野、とりわけ永泰およびその周辺の画家たちと関連のある富士図である。

さて、右幅には雄大な富士山が描かれているが、横長の画面を活かした富士の姿は、画面に合わせるように、どこまでも水平方向に広がる裾野の描写が特徴的である。つまり、実際の富士山の写生ではなく、美しい山の描写を多少とも誇張して描いている絵画であり、寛文七年（一六六七）制作の探幽筆《富士山図》（静岡県立美術館蔵）などと同様の富士の姿である。雪の積もった頂上を際立たせるために、中腹には濃い墨による雲が配置された。画面左下には「永泰」の白文方印、その下に「宇宙在手萬化生負」の朱文長方印が捺されている〔図3〕。

左幅には逆巻く波浪の描写が見られ、やはり横長の画面を活かした、激しく岩にぶつかる波の表現となっている。大きく立ち上がる浪しぶきは、黒々とした岩を背景に力強い形態描写にされた。画面右手には余白を用いた大きな空間が配置され、うねるように盛り上がる波の描写は、簡潔にして狩野派のお家芸とでもいうべき、やわらかい線描を駆使したものである。画面左下に「狩野其同永泰」の墨書があり、続いて「永泰」の白文方印、その下に「東美子」の朱文方印が捺されている〔図4〕。また、箱書（蓋表）に「富山帶雲之図 海岩逆浪之図 狩野其同永泰筆」〔図5〕と記されている。

《富山帶雲之図・海岩逆浪之図》は、いささか簡潔すぎる描写ではあるが、爽やかな印象を与える作品でもある。両画面ともに、画面の右側を余白に近い空間としているため、そしてまた、落款印章の位置などから考えて、右幅の富士図と左幅の波濤図の組み合わせは、必ずしも双幅という印象を与えないが、遺存する箱などから考えて、やはり双幅だといわざるをえない。富士図と波濤図を合わせた図様は、関西大学図書館所蔵の永泰筆《富士越龍之図》（絹本墨画淡彩・縦一一三・九、横四一・七センチメートル）〔図6〕でも確認されるが、「富士越龍之図」の図様は、兄の永岳が嘉永五年（一八五二）に制作した《富嶽登龍図》（絹本墨画・縦一七九・〇、横八七・〇、静岡県立美術館蔵）〔図7〕とほぼ同様であり、両者には間違いなく影響関係があったはずである。加えて、こうした図様は、探幽以降の江戸狩野に受け継がれた図様である可能性が高い。両作品ともに、一つの画面に富士と波濤のモチーフを上下に組み合わせ、その間に空を駆ける龍の姿が描き込まれている。山下善也

氏によって、『國華』第一一八四号に紹介された永岳の《富嶽登龍図》は、横山大観筆《或る日の太平洋》（一九五二年作）に影響を与えた可能性が高いという。^② 加えて、左大臣九条尚忠が徳川家定の將軍宣下のために江戸へ下る際、六十四歳の永岳が同行し、富士山を実見する機会に恵まれ、百幅の富士を描いたと伝えられる。妙心寺天球院に所蔵される永岳筆《富士三保松原図（富士百幅のうち）》（嘉永六年・一八五三）や《富士図（富士百幅のうち）》（嘉永六年・一八五三・個人蔵 縦三四・八、横五四・〇センチメートル）「図8、9」などがそれにあたる。後者の《富士図（富士百幅のうち）》には画面右下に「嘉永癸丑 仲冬東行 富士百幅之一 狩野縫殿助永岳」（墨書）と「藤永嶽」（白文方印）および「公嶺」（白文方印）の款記印章が見られる。いずれにしろ、富士と波濤という図様は、探幽以後の江戸の狩野派にとっては、いわゆる定番の図様であったといえるだろう。

註

- ① 山岡泰造「小書院の障壁画について」、『関西大学博物館紀要』第三号、平成九年（一九九七）、七七―九八頁。拙稿「江戸と京をつなぐ江戸狩野」、『美術フォーラム21』、美術フォーラム21刊行会、六一九頁。
- ② 山下善也「狩野永岳筆 富嶽登龍図」、『國華』第一一八四号、一九九四年、二九、三一―三四頁。
- ③ 高木文恵「狩野永岳作品解説」、『伝統と革新——京都画壇の華 狩野永岳——』、彦根城博物館、平成一四年（二〇〇二）、一二〇頁。



图1 狩野永泰「富山帶雲之図」(久昌院蔵)
56.5×125.5cm



图2 狩野永泰「海岩逆浪之図」(久昌院蔵)
57.0×128.3cm



图5 箱書（表）

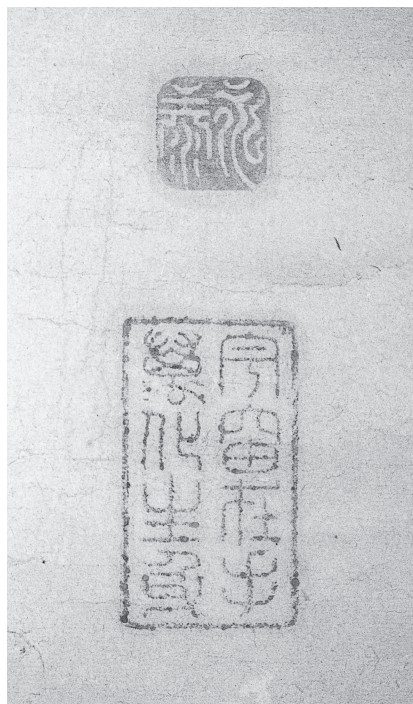


图3 「富山帶雲之図」落款

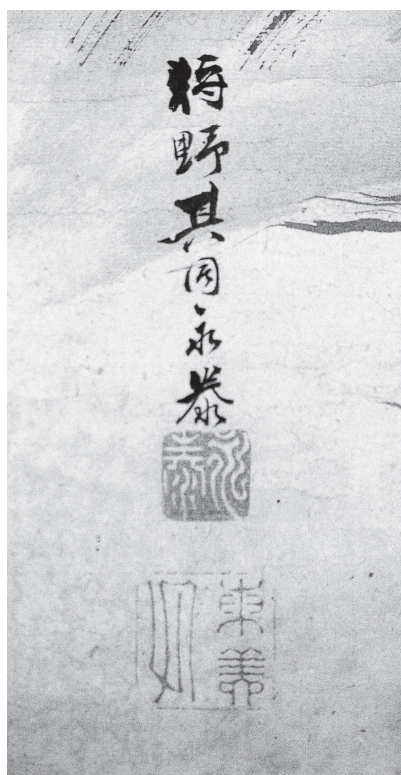


图4 「海岩逆浪之図」落款

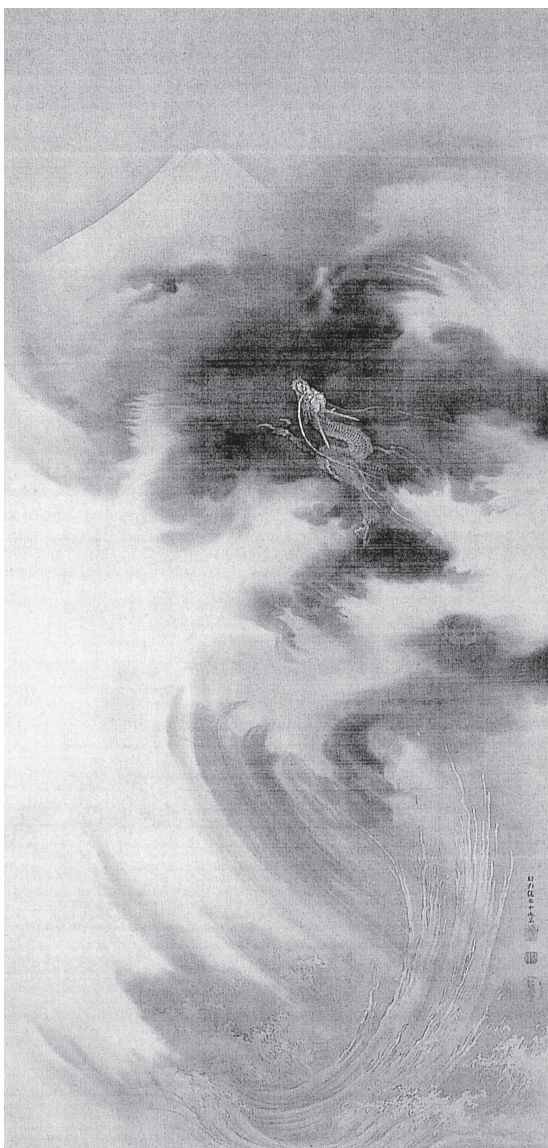


図7 狩野永岳「富嶽登龍図」
(静岡県立美術館蔵)



図6 狩野永泰「富士越龍之図」
(関西大学図書館蔵)

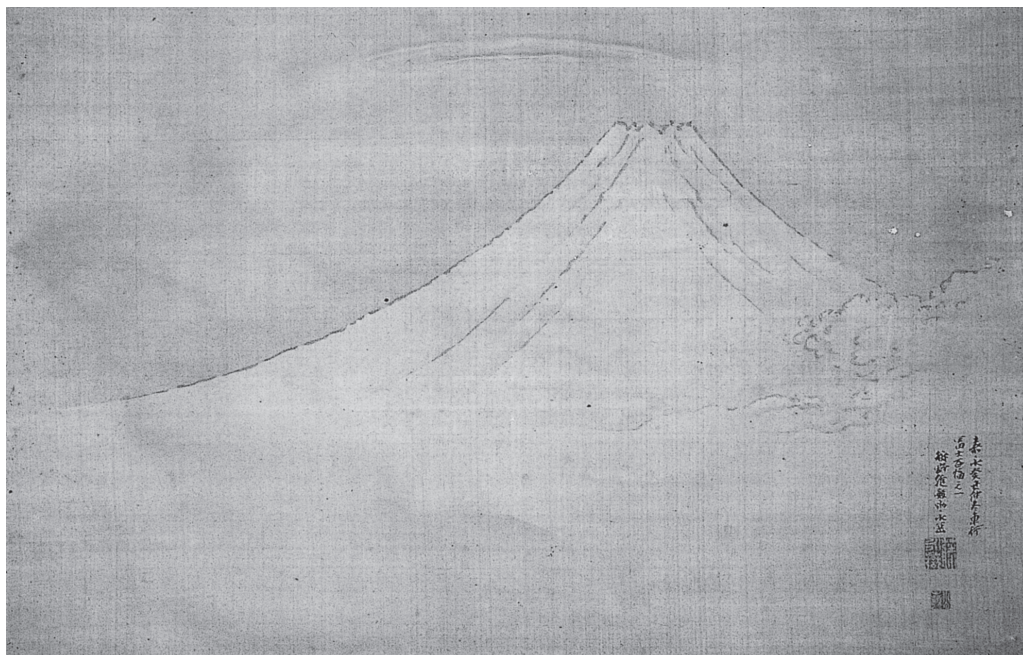


图8 狩野永岳「富士図（百幅之一）」（個人蔵）

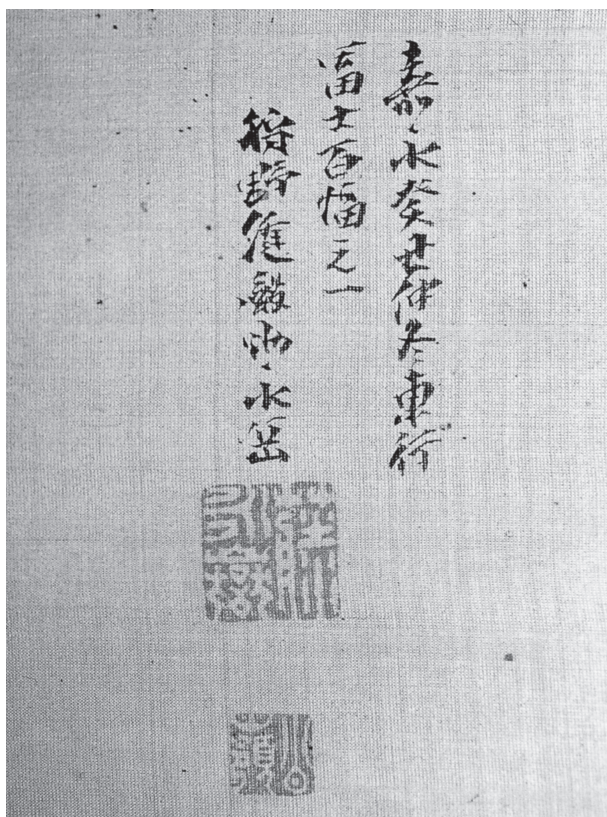


图9 「富士図（百幅之一）」落款